
開講科目名：金融論研究 (B) (2単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：峯岸 信哉

《授業の概要》

【授業の目標】

本講義では日本の金融業が直面する状況や課題について考察する。金融業が産業界に非常に大きな影響を与えていることは言うまでもない。本講義の具体的な目標は、その金融業がどのような競争環境に身をおき、どのような変革を迫られているのかについて理解することである。キーワードはリレーションシップ・バンキングである。以前主流であった大企業中心・大都市中心の経済発展が限界を迎えていることは、バブル崩壊の事実を振り返るまでもない。新しい産業構造を作りイノベーションを起こすためには中小企業や個人の力を結集させることが不可欠であり、そのためのリレーションシップ・バンキングが果たす役割を中心とした検討を行いたい。

【質問への対応】 随時対応

【授業の計画】

1. 国際金融の諸問題 (リーマンショック (1) : 背景)
2. 国際金融の諸問題 (リーマンショック (2) : 影響)
3. 金融システムの理論的整理 (金融システムの機能)
4. 金融システムの理論的整理 (銀行型システム (1) 内容)
5. 金融システムの理論的整理 (銀行型システム (2) 特徴)
6. 金融システムの理論的整理 (市場型システム (1) 内容)
7. 金融システムの理論的整理 (市場型システム (2) 特徴)
8. 金融システムの理論的整理 (リレーションシップ・バンキング (1. 理論))
9. 金融システムの理論的整理 (リレーションシップ・バンキング (2. 実際))
10. 金融システムの理論的整理 (リレーションシップ・バンキング (3. 役割))
11. 金融システムの理論的整理 (リレーションシップ・バンキング (4. 限界))
12. 金融システムの理論的整理 (リレーションシップ・バンキング (5. 知的資産))
13. 金融システムの理論的整理 (ベンチャーファンド (1) 内容)
14. 金融システムの理論的整理 (ベンチャーファンド (2) 課題)
15. エピローグ

※なお、履修者の理解度を優先し、授業内容は適宜変更する場合がある。

【成績評価の基準と方法】

レポートの内容 (80%) および授業への貢献度等 (20%) を総合的に判断して評価する。とくに、報告・討論などをいかに主体的に取り組むかをチェックする。

《テキスト》

特定の教科書は用いない。

《参考書》

講義中に教員が指示する。